

常陸大宮市(ひたちおおみやし)

法人番号 6000020082252

 市章 〒 319-2292 〈住所〉 常陸大宮市中富町3135番地の6 〈TEL〉 0295-52-1111 〈FAX〉 0295-53-5415 〈HP〉 https://www.city.hitachiomiya.lg.jp/ 〈e-mail〉 soumu@city.hitachiomiya.lg.jp	地域指定 過疎(一部区域) 辺地(一部区域) 山振(一部区域) 特定農山村(一部区域)		一部事務組合加入事業 退職手当 消防費じゅつ金 交通共済 消防災害補償 非常勤公務災害 市町村会館管理 滞納処分等 し尿 ごみ		公営企業 <small>※令和7年3月31日現在</small> 法適用(上水 公共下水 農業集落排水)
	類型 I-1 地方公共団体コード 082252 面積 348.45 km ²				

<行政組織>

①長等(令和7年5月1日現在)

長	すずき さだゆき 鈴木 定幸 (58歳)	任期	令和10年4月22日
		就任回数	2期目
副市長	欠員		

②議会(令和7年5月1日現在)

議長	大貴 道夫	副議長	岡崎 欣也
任期	令和8年8月5日	条例定数	18人 (16)
党派別	自民1人、公明2人、共産1人、無所属13人		

③職員数(令和6年4月1日現在)

全職員数	普通会計関係	うち一般行政関係	公営事業会計関係
494	446	311	48
一般行政職の平均給料月額	3,148 百円	ラスパイルズ指数 97.9	地域手当補正後ラス指数 97.9
全職員数の推移	令和3年4月1日	令和4年4月1日	令和5年4月1日
	489	487	489

④機構図(令和7年4月1日現在)

〈市長〉-〈副市長〉-

総務部-総務課、財政課、危機管理課

企画部-秘書広聴課、企画政策課

地域創生部-地域創生課、定住推進課、山方支所、美和支所、緒川支所、御前山支所

市民生活部-市民課、生活環境課、税務徴収課

保健福祉部-医療保険課、健康推進課

国保美和診療所、国保緒川歯科診療所

福祉事務所-社会福祉課、こども課、長寿福祉課

産業観光部-農林振興課、商工観光課

建設部-都市計画課、駅周辺整備推進課、土木建設課

上下水道部-総務経営課、施設管理課

〈会計管理者〉-会計課

〈消防長〉-消防本部-総務課、警防課、予防課

東消防署、西消防署

〈議会〉-議会事務局

〈監査委員〉-監査委員事務局

〈農業委員会〉-農業委員会事務局

〈教育委員会〉-教育長-教育委員会事務局-学校教育課、生涯学習課、文化スポーツ課

〈行政委員会〉
選挙管理委員会、公平委員会、固定資産評価審査委員会

<概要>

①沿革

平成16年10月16日 編入
山方町 美和村 緒川村 御前山村
平成16年10月16日 市制施行

②地勢・風土等

常陸大宮市は、茨城県の北西部、八溝山地及び阿武隈山地の南端部に位置し、面積は348.45km²である。東に久慈川、南に那珂川が流れ、市の面積の約60%を山林が占める。

先人たちが作り上げた自然や歴史、文化、地域の絆などがけがえない財産・つながりを大切にし、「ふるさと常陸大宮」を次の世代、そして未来へとつないでいくため、「郷育立市」の考えを踏まえ、「人が輝き 安心・快適で 活力と誇りあふれるまち」を目指している。

③人口・世帯数

区分	国勢調査			常住人口 (令和7年4月1日)	
	平成22年	平成27年	令和2年		
人口	男	22,141	20,953	19,392	17,900
	女	23,037	21,634	19,875	18,299
	合計	45,178	42,587	39,267	36,199
世帯数	16,087	16,005	15,643	15,538	

④有権者数(令和7年3月3日現在)

有権者数	男	女	計	高齢人口割合 39.7%
	16,452	16,672	33,124	

<産業・経済>

①生産・所得(令和4年度)

市町村内総生産	1,633 億円	住民所得	1,113 億円
		人口1人当り住民所得	2,926 千円

②産業構造

区分	総生産額(令和4年度)		就業人口(令和2年国調)	
第1次	5,943	3.6%	1,492	8.3%
第2次	70,847	43.4%	5,467	30.4%
第3次	84,861	52.0%	11,027	61.3%
総額・総数	163,324	-	17,986	-

③農業・工業・商業

農業 (令和2年2月1日)	農家数 3,065	主業農家数 97	農業就業人口 2,821
製造業 (令和5年6月1日)	事業所数 108	従業者数 4,313	製造品出荷額等 (R4.1.1~12.31) 127,319
卸・小売業 (令和4年6月1日)	事業所数 373	従業者数 2,592	年間販売額 (R3.1.1~12.31) 51,541

④特産物

西ノ内和紙、しいたけ、常陸秋そば、鮎、ゆず、奥久慈米、鶏卵、奥久慈ねぎ、奥久慈の枝物、奥久慈なす、奥久慈いちご

<財政状況>

①決算収支

(千円・%)

区分	令和4年度決算	令和5年度決算	増減率
歳入	25,191,922	26,062,186	3.5
歳出	24,724,766	25,457,232	3.0
形式収支	467,156	604,954	-
実質収支	316,993	391,856	-
単年度収支	△ 502,398	74,863	-
実質単年度収支	△ 101,576	△ 1,369,236	-

②主な歳入・歳出(令和5年度)

(百万円・%)

区分	決算額	構成比	増減額	増減率
歳入	26,062	-	870	3.5
地方税	5,133	19.7	30	0.6
地方交付税	8,200	31.5	△ 30	△ 0.4
国庫支出金	3,658	14.0	△ 200	△ 5.2
地方債	1,766	6.8	△ 31	△ 1.7
うち臨財債	83	0.3	△ 106	△ 56.1
その他	7,305	28.0	1,101	17.7
うち繰入金	2,705	10.4	2,036	304.3
歳出	25,457	-	732	3.0
義務的経費	11,006	43.3	338	3.2
人件費	3,838	15.1	79	2.1
扶助費	4,328	17.0	372	9.4
公債費	2,840	11.2	△ 113	△ 3.8
投資的経費	3,879	15.2	974	33.5
普通建設事業費	3,827	15.0	928	32.0
うち補助	1,594	6.3	748	88.4
うち単独	2,224	8.7	184	9.0
その他の経費	10,572	41.5	△ 580	△ 5.2
うち繰出金	2,341	9.2	385	19.7

③主要指標(令和5年度)

・健全化判断基準

実質赤字比率	- % (12.87)
連結実質赤字比率	- % (17.87)
実質公債費比率	9.0 % (25.0) [6.6]
将来負担比率	27.9 % (350.0) [23.3]

・普通会計に関する主な指標

財政力指数(令和6年度)	0.427	[0.670]
経常収支比率	90.8 %	[92.6]
標準財政規模(令和6年度)	13,979 百万円	[16,772]
地方債現在高(A)	22,405 百万円	[25,447]
債務負担行為支出予定額(B)	2,969 百万円	[4,978]
積立金現在高(C)	7,655 百万円	[7,929]
将来にわたる財政負担(D=A+B-C)	17,719 百万円	[22,496]

※1 ()は早期健全化基準、[]は県平均値

※2 県平均のうち実質公債費率及び将来負担比率は加重平均、それ以外は単純平均

④市町村税の状況(令和5年度)

(千円・%)

区分	調定額	収入額	徴収率 []は県平均値
市町村民税・個人(構成比)	1,693,726 (31.9)	1,648,175 (32.1)	97.3 [97.2]
市町村民税・法人(構成比)	268,588 (5.1)	267,038 (5.2)	99.4 [98.6]
固定資産税(構成比)	2,877,954 (54.1)	2,753,338 (53.6)	95.7 [97.3]
市町村税合計(国保除く)	5,317,021	5,133,368	96.5 [97.4]

<公共施設整備状況>(令和5年度)

※1は令和6年度
道路改良率・舗装率は令和4年度

小学校 ※1	11 校	体育館	5 か所
中学校 ※1	4 校	プール	3 か所
義務教育学校 ※1	0 校	児童館	0 か所
幼稚園 ※1	0 園	老人福祉施設	42 か所
保育所 ※1	5 か所	病院・一般診療所	25 か所
認定こども園 ※1	8 園	道路改良率	40.8 %
図書館	1 か所	道路舗装率	54.4 %
公営住宅	631 戸	上水道等普及率	98.6 %
公民館等	6 か所	汚水処理普及率	77.9 %

<主要施策等>

①主要施策実施状況

(百万円)

名称	期間	内容	概算事業費
常陸大宮駅周辺整備事業	H28 ~	JR常陸大宮駅東西自由通路及び駅西交流拠点等を整備する。	2,013 (R7)
子育て世帯向け住宅整備事業	R5 ~	本市に住みたいと思える魅力あるまちづくりを進めるとともに、子育て世帯の移住・定住を促進し、人口減少対策として子育て世帯向けの住宅を整備する。	323 (R7)
公共ライドシェア実証運行事業	R7 ~	交通空白の解消を図り、市民等の移動手段の確保や外出機会を創出するため、一般ドライバーを活用した「公共ライドシェア」の実証運行を行う。	30 (R7)
未来の学びを支えるエデュケーション推進事業(複式学級解消のための学習活動支援教職員配置)	R6 ~	複式学級を編制する学校に、担任とは別に市費教職員を配置し、主要教科を学年別で授業を行う環境とすることで、よりきめ細やかな学習活動の実施や担任となった教職員の負担軽減を図る。	25 (R7)
やすらぎの里公園ブラッシュアップ推進事業	R7 ~	民間事業者と連携して施設のブラッシュアップを検討し、既存施設を充実させることで観光機能の強化を図る。	22 (R7)

②今後の主要課題・特色ある行政等

<p><主要課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少と少子高齢化の進行 ・子育て支援、教育環境の充実 ・地域産業の活性化・雇用の創出 ・安全・安心を求める意識の高まり ・環境問題の深刻化 ・協働のまちづくりと地方分権の進展 ・社会インフラなどの老朽化 ・情報通信技術(ICT)などの進展 <p><特色ある行政></p> <p>戦略的な視点に立ち、施策体系の枠組みを超え、横断的かつ総合的に進める取組として政策プロジェクトを設定。</p> <p>【政策プロジェクト】「人口流出を防ぐダム(政策)の構築と実践」</p> <p>戦略1 常陸大宮市に「住みたい」～魅力あるまちづくり～</p> <p>戦略2 常陸大宮市で「育てたい」～子育て支援と教育の充実～</p> <p>戦略3 常陸大宮市に「来たい」～新たな魅力の創出と磨き上げ～</p>
